

議事録

会議名称	長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム 第4回ミーティング		
開催日時	令和7年(2025年)11月19日 13:30~15:30	開催場所/ 方式	参集(県立長野図書館3階信 州・学び創造ラボ)+WEB会議
出席者 (敬称略)	長野県図書館協会 依田会長、棟田副会長*、森理事長、山口小中学校図書館部 会長、峯村公共図書館部会長*、武田佳代(大学図書館部会長指名 信州大)、原 猛*(長野県高等学校図書館協議会事務局長指名 赤穂高)、干川優(県教育委員 会事務局生涯学習課)、長谷川松実*(小中学校図書館部会長指名 木祖村立木 祖小) 文平玲子(公募 市立須坂図書館長)、牧野優子(公募 飯田市立飯田西 中)、米山美保(公募 長野市立松ヶ丘小) (*印:WEB参加)		
ゴール(目的)	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館大会のローテーション、オンライン併用の予算について方向性決定 ● 図書館協会ホームページのデザイン・キャッチコピーの検討 		
アジェンダ	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書館大会について <ol style="list-style-type: none"> (1) ローテーション (2) 運営マニュアル(仮称) (3) 予算(オンライン併用) 2 図書館協会ホームページリニューアル 3 「書店・図書館等による連携協議会」の取組への当協会の協力 4 R8 諏訪大会の状況について(基調講演、分科会、県150年) 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書館協会指針※改訂に向けて (2) これまでの検討を踏まえた改善対策の提案に向けて (例:研修委員会の設置 など) (3) 「第5次長野県子ども読書活動推進計画」推進への当協会の協力 (4) 「本の甲子園」についての情報共有 		

決定事項/To do

■決定事項

- 図書館大会のローテーションは、県図書館大会の順番と小中学校図書館部会の地区学校図書館教育研究大会の順番とがバランスよく各地区を回るように調整した新たなローテーション案を当チームとして支持。
- 小中学校図書館部会主催の「地区学校図書館教育研究大会」から地域名の「〇信」を外し、誰でも参加可能としてはどうか。その際、担当支部の負担軽減のため受付窓口は図書館協会が担うなど、役割分担等の詳細は別途詰める。
- 図書館大会でのオンライン併用のための予算を「予備費」として30万円を上限に確保する案を提案する。
- 「研修委員会」を設置することを提案する。

■To do

- 図書館大会マニュアル、「改善対策の提案」を、メンバーが共同編集できる環境を用意して、メンバーの皆様から随時自由に書き込んでいただけるようにしたい。
- 協会のキャッチコピーについてはミーティングで出された案をベースに詳細を詰める。
- 次回ミーティングを令和8年2月頃実施(別途日程照会)

1 図書館大会について

(1) ローテーション

- ・ 県図書館大会の順番と小中学校図書館部会の地区学校図書館教育研究大会との順番とがバランスよく各地区を回るように調整したローテーション案を提案。
- ・ 県大会が中南信であるときには、東北信のどちらかの地区で研究大会を行うという原則。

議事録

- ・各地区で長野県図書館大会と学校図書館教育研究大会とが続くことがないように学校図書館教育研究大会の開催順を調整し、地域間の偏りを避ける。ただし、北信越大会との共催により、一部年度で県大会と研究大会とが同地区での連続開催になる可能性もある。
- ・地区学校図書館教育研究大会については、名称から「地区」を外し、「学校図書館教育研究大会」として誰でも参加可能にすることを提案。これにより、どの地域からでも参加できるようにし参加を促進。公共図書館との連携強化を目指し、研修機会を確保する狙いを共有。
- ・研究大会の名称を変更し参加者募集のエリアを拡大した場合の広報や受付窓口の負担増を懸念。支部による運営負担の差異を共有。特に学校側の事務負担が大きい支部では負担軽減が課題。協会が受付窓口を担う案も出された。これにより、広域参加を可能にしつつ、支部の負担を軽減する方向で検討。
- ・県図書館大会と地区学校図書館研究大会が近い時期に重なり、参加者がどちらに行くか迷う事例について、協会と部会との連携により改善する必要性を指摘。
- ・研修はオンライン併用を推奨。旅費負担が難しい学校司書などの参加機会を確保するため必要との意見。

(2) 運営マニュアル（仮称）

- ・運営マニュアルの素案として、開催3年前からの準備スケジュールを記載し、過去資料参照のためリンクを設定する構成を提案。これについて修正点などを議論
- ・分科会運営の記載について、学校司書委員会や司書教諭委員会による分科会担当は負担が大きいとの意見。隔年開催や柔軟な方法を検討。学校司書委員会や司書教諭委員会の活動の成果を無理なく還元する方法として、図書館大会分科会におけるレポートや事例報告で代替する案を検討。
- ・県図書館大会担当地区の実行委員会発足前に図書館協会が大会の概要などについて説明会を行う「ワンクッション」を設ける提案。公共図書館と学校図書館側の協力体制を円滑にする効果を期待。
- ・準備開始時期「1年1ヶ月」の記載では不十分との指摘。実態に即した記載へ修正し、早期準備着手の重要性を強調。
- ・今後、メンバーがマニュアル案に意見等を直接書き込める環境を用意するなどして共同編集作業を進め、まとめていく。

(3) 予算（オンライン併用）

- ・図書館大会のオンライン費用を予備費に計上する案について検討。図書館協会のホームページ移行で調整可能となったシステム費を財源に充当。異論等なし。
- ・オンライン費用の上限を30万円に設定し、予算書決算書にわかりやすく明記する方針を確認。予算不足でオンライン併用を断念しない仕組みを整備。

2 図書館協会ホームページリニューアル

- ・学校図書館中心に見える現行サイトの構成を改善し、新デザイン案では全館種をフラットに見せる構成案を提案。
- ・キャッチコピーと写真の選定を議論。
- ・キャッチコピーには「館種を超えてつながり」や「県民の学びと暮らしを支える」の表現を入れていく方向。ただ、長いので文面はさらに練る。キーワードは「つながる（つなぐ）」
- ・アイコンは館種別（公共・学校・大学）に整理し、「部会」は削除。

議事録

- 3 「書店・図書館等による連携協議会」の取組への当協会の協力
 - ・ 同協議会へ図書館協会として事務局への参画を報告。研修会は書店員、図書館職員が参加しやすいよう平日午後開催（R8.1.23）。オンライン配信予定。
 - ・ 在庫情報連携プロジェクトカスタムの対象タイトル選定について意見募集。
 - ・ その他、年度途中で提案のあった事業の進捗状況を共有。木下通子氏講演会は12月4日開催、手話通訳手配。協会20年史・論文は予算難により出版は困難。Web掲載など予算を伴わない方法で対応検討。ビジネスライブラリアン研修（R8年度に松本市で開催予定）は協会関与により周知強化及び関連フォーラム開催。

- 4 R8 諏訪大会の状況について（基調講演、分科会、県150年）
 - ・ 来年度10月24日開催が決定。「長野県150年記念」を副タイトルとして付加したり分科会として地域資料収集・活用をテーマに県史編さん委員会から講師を招いたりすることを調整中。

- 5 その他
 - (1) 図書館協会指針改訂に向けて
 - ・ 今後の作業日程などを再確認。
 - (2) これまでの検討を踏まえた改善対策の提案に向けて（例：研修委員会の設置 など）
 - ・ 今年度途中でいくつか研修提案があり、今年度は協会役員やあり方検討チームメンバーとメールで意見照会等しながら検討を進めたが、今後はそうした際の意味決定において透明で公平な仕組みが必要との意見。その仕組みとして研修委員会設置の案について一同から賛同される。
 - ・ 研修委員会は来年度の設置を目指し、職指定＋公募の混成案で検討。総会までに具体案を提示予定。
 - ・ その他の改善対策の提案に向けては、マニュアル案と同様、意見等を直接書き込める環境での共同編集作業を通じてまとめていく。
 - (3) 「第5次長野県子ども読書活動推進計画」推進への当協会の協力
 - ・ 当該計画における協会関連記載箇所を確認し、協会関与の重要性を共有。地域における横断的有機的なネットワークの構築・強化を目指す。
 - (4) 「本の甲子園」についての情報共有
 - ・ サイト参照などにより情報共有。

※ 次回

2月頃開催予定（別途日程照会）。